

O・T・A・I・K・O 響

● 8月の第3土曜日に開催

平成元年に国の「自ら考え自ら行う地域づくり事業」を活用し、皮面直径5尺、当時西日本一の太鼓「明神」を織田町のシンボルとして製作し、商工会主催の「サマーフェスティバル」の一環として、第1回「O・T・A・I・K・O 響」が開催されました。

会場は小学校の運動場からのスタートでしたが、その後、野外ステージを持つ「オタイコ・ヒルズ」が整備され、それをきっかけに名実ともに夏の福井を代表する太鼓イベントとして定着し、現在に至っています。

毎年、プロの太鼓打ちをゲストとして迎え、レベルの高い素晴らしい和太鼓の演奏を身体で感じる事ができます。



▲ O・T・A・I・K・O 響2020
実行委員長 鈴木 金治郎さん

実行委員長から町民のみなさんへ

昨年は、O・T・A・I・K・O 響の30周年という記念すべき年であり、多くのみなさんにお越しいただき、太鼓の素晴らしさを再確認していただけたことと思います。今年は、残念ながら中止せざるを得なくなりましたが、関係者一同 O・T・A・I・K・O 響への気持ちは緩むことなく、中止となった今でも、「何か出来ることはないか」「みんなの気持ちが明るくなる事はどんな事だろうか」と考えています。

これからも織田地区の住民が丸となり、おもてなしの心を忘れず、来場してくれるお客様に満足していただけるように取り組んでいきたいと思っています。

来年の開催予定の O・T・A・I・K・O 響2021、みなさんのお越しを心よりお待ちしております。

O・T・A・I・K・O 響ホームページもあわせてご覧ください。 <http://www.otaikohibike.com/>

あさひまつり

● 7月の最終土曜日に開催

あさひまつりは、昭和51年に朝日町の町民総参加のまつりとして始められました。第2回のまつりから現在も残るあんどん山車が初登場し、年々華やかな山車が増え続け、一時は、地域全体で20基を超えるまでになりました。現在は、あんどん山車の曳き手不足と高齢化が進み、巡行団体は減っていますが、18基の勇壮なあんどん山車が縦横無尽に町内を駆け巡り、華麗な光と色彩の競演を繰り広げています。

また、婦人会の民踊パレードや保育園児のパフォーマンス、ヨサコイ、大抽選会を始めとするステージイベントなど、町内の老若男女が参加し、親睦と連帯を深めるアットホームな地域密着型の手づくりのまつりです。



▲ 第45回あさひまつり
実行委員長 孝久 幸一さん

実行委員長から町民のみなさんへ

あさひまつりは、県内では珍しいあんどん山車のまつりです。また、朝日地区の住民にとっては、山車巡行のための準備や民踊パレードの練習など、地域内のコミュニケーションの場としても、重要な役割を担っているイベントだと感じています。今年はやむなく中止となり、開催を心待ちにされていたみなさんには申し訳ございませんが、ご理解いただき、来年のあさひまつりにご期待いただけますと幸いです。この事態が早期に収束し、あんどんの優しい光が町中にあふれることを願っております。

特集

写真で
振り返る

越前四大まつり

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年のは町の四大まつりがやむなく中止となりました。この事態の収束を願いつつ、来年の開催に向けて、四大まつりの歴史を振り返ります。